

# 令和7年度 松本市 若者の社会参画実態調査 結果

## 【B 若者所属団体(教員等)対象調査】設問

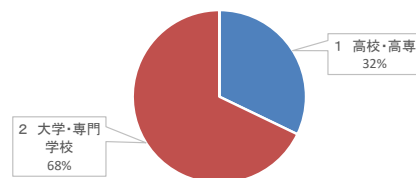
有効回答数: 28

### 団体について

#### 3. 団体の種類

1 高校・高専	9	32%
2 大学・専門学校	19	68%
3 その他若者を要する公共団体	0	0%
4 その他若者を要する民間団体	0	0%
	28	

#### 3. 団体の種類

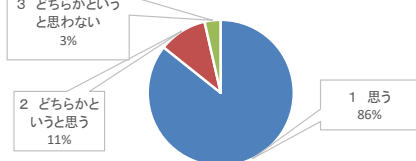


### 団体の現状について

#### 4. 若者の力は社会で必要とされていると思いますか。

1 思う	24	86%
2 どちらかというと思う	3	11%
3 どちらかというと思わない	1	4%
4 思わない	0	0%
	28	

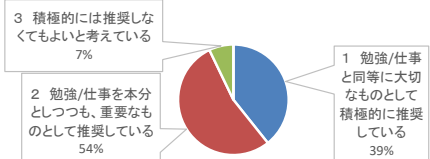
#### 4. 若者の力は社会で必要とされていると思いますか。



#### 5. 貴団体が若者の社会参画(地域活動等)について持つ考えとして一番近いものを選んでください。

1 勉強/仕事と同等に大切なものとして積極的に推奨している	11	39%
2 勉強/仕事を本分としつつも、重要なものとして推奨している	15	54%
3 積極的には推奨しなくてもよいと考えている	2	7%
4 推奨していない	0	0%
	28	

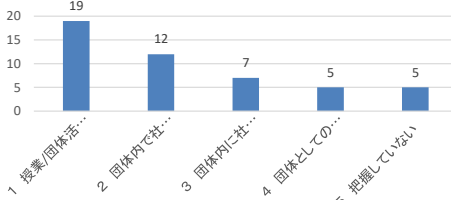
#### 5. 若者の社会参画(地域活動等)について持つ考えとして一番近いもの



#### 6. 貴団体の若者の社会参画状況について、当てはまるものを全て選んでください

1 授業/団体活動の一環として社会参画の機会を設けている	19	68%
2 団体内で社会活動をサポートする仕組みがある	12	43%
3 団体内に社会活動を行うサークルなどがある	7	25%
4 団体としての支援がなくとも、若者独自で社会参画を行っている	5	18%
5 把握していない	5	18%

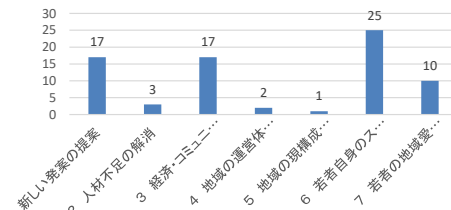
#### 6. 若者の社会参画状況について



#### 7. 貴団体が若者の社会参画にて、重要視していることを選んでください。[3つまで]

1 新しい発案の提案	17	61%
2 人材不足の解消	3	11%
3 経済・コミュニティの活性化	17	61%
4 地域の運営体制の改善	2	7%
5 地域の現構成員のスキルアップ	1	4%
6 若者自身のスキルアップ	25	89%
7 若者の地域愛の創出	10	36%

#### 7. 若者の社会参画にて重要視していること[3つまで]



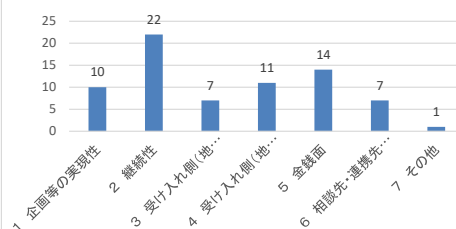
8. 貴団体が若者の社会参画に対して不安を感じていることを選んでください。〔3つまで〕

1 企画等の実現性	10	36%
2 継続性	22	79%
3 受け入れ側(地域)との衝突	7	25%
4 受け入れ側(地域)の若者に対する知識不足	11	39%
5 金銭面	14	50%
6 相談先・連携先が分からない	7	25%
7 その他	1	4%

7 その他の自由記述 一部抜粋

- ・要望が多すぎて対応できない。
- ・学びの場と考えているが、学生が地域づくり、活性化、金銭効果のために利用されている。

8. 若者の社会参画に対して不安を感じていること〔3つまで〕



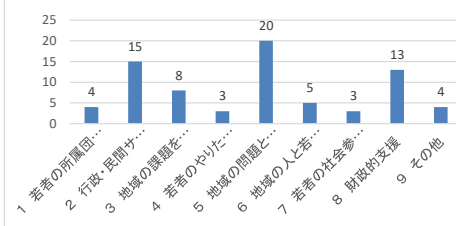
9. 貴団体の若者が社会参画/地域活動を行うにあたり、どういったサポートがあればよりよいと思いますか。〔3つまで〕

1 若者の所属団体(学校等)内サポーターによる支援	4	14%
2 行政・民間サポーターによる支援	15	54%
3 地域の課題を知れるシステム	8	29%
4 若者のやりたいことを知れるシステム	3	11%
5 地域の問題と若者をつなぐマッチングシステム	20	71%
6 地域の人と若者、若者同士が出会える場所	5	18%
7 若者の社会参画に対する研修の実施	3	11%
8 財政的支援	13	46%
9 その他	4	14%

9 その他の自由記述 一部抜粋

- ・高齢化が進み次の世代への繋ぎが難しい、学生は意欲的であるが、時間がなく参加が難しい。
- ・地域活動と教育目標/目的の擦り合わせの必要性
- ・米国のコミュニティカレッジが展開しているようなサービスマッチング制度を展開するとよいのかと思っています。
- ・地域等が若者を人手不足の解消の手段としてしか見ていない認識の改善、依存性が高いが共存できる環境となっていないので持続性がない。
- ・仕組みを作ることも重要であるが、コーディネーターの養成は重要。
- ・若者も各々のコミュニティを作っており、相当な魅力を感じないと持続しないこと、経済的な理由でアルバイト等を優先することがあるので、多少なりともインセンティブがないと難しい現状を感じる。

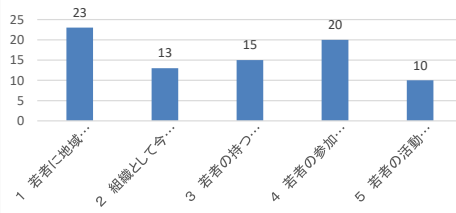
9. 若者が社会参画/地域活動を行うにあたり、どういったサポートがあればよりよいのか。〔3つまで〕



10. 若者がより社会参画できる地域にするために、貴団体ができることを選んでください。あてはまるものを全て選んでください。

1 若者に地域の課題を共有し、現状を知ってもらうこと	23	82%
2 組織として今までの制度等にとらわれない柔軟な考えを持つこと	13	46%
3 若者の持つ新しい意見を積極的に取り入れること	15	54%
4 若者の参加できる場を用意すること	20	71%
5 若者の活動に関する財政支援を行うこと	10	36%

10. 若者がより社会参画できる地域にするために、貴団体ができること



11. その他、若者の社会参画についてお困りのこと・ご意見がありましたらお願いします。〔自由記述〕

11 その他の自由記述 一部抜粋

・学生は多忙であり、授業とバイト、地域活動に忙しい。気楽に社会人と話ができるような場があると面白い。

・若者を何かのお手伝い要員でなく、考えさせる時間は必要となるが主体性の生かせる参画形態が考えられるとよい

・その活動において、学校側が「教育」としての意味を見出せるかどうかきちんと考えてから行動する必要があると思います。

「なんでも勉強だ」という考えは良いものではなく、地域の「お手伝い」要員の意味合いが強い活動は好ましくないと考えます。

生徒の未来は限定された地域のものではないと考えます。

・大学生の多くが奨学金を得て通学しているため、日々アルバイトに時間を割いています。アルバイトの時間を削り、地域ボランティア活動に参画するには、アルバイトに費やす時間的コストを上回るメリットがないと積極的に関わろうとはしません。大学では学べない成果が挙げられる、自己成長を感じることが出来る、企業人と知り合いになれるなど、若者にとって魅力的なプログラムを作る必要があります。単なる人手不足を解消するための地域貢献活動は、現代の若者にとって魅力的な活動とは言えないと考えます。

・松本市は地域の社会教育の伝統や蓄積があり、それぞれの地区での住民の主体的な学習活動が展開している。その住民の主体的な地域づくり学習の基盤と若者支援の取り組みを接合していくこと。（そのような活動の展開は国内外（例えばスコットランドとか、札幌・和歌山・京都とか）で豊かに展開をしているし、松本市もその展開可能性を有している。だからこそ、その両者を切り離さない視点を持つこと。）

・ただ単に町会や地域の課題を労働力として若者に期待するのではなく、子ども・若者を育むコミュニティを地域に創造していく視点を持つこと。地域との具体的ななかかわりなしに、生活文脈と切り離されたところで意見を求めても、若いからと言って良い意見が出てくるというわけではない。短期的な地域課題解決の成果を若者たちに期待するのではなく、若者自身が地域の多様な主体とのなかかわりの中で自身のできることを思い描き、何らかの役割を持ち、受け止められた経験を通して社会に対する一般的信頼を育んでいくことができる。そのような人が育つコミュニティをつくっていくことを中心に据えて、若者の社会参画を描いていくことが重要であると考えます。

・若者も経済的に大変で、ボランティアに参画するのは難しい状況かと思います。大学でしたらサービス・ラーニングとして単位を出すようにするのいいのかもしれませんが。

・地域や社会の若者への理解、考え方のずれを感じる。また、新しい事（取り組み、人材、若者を含む）を利用することは考えても、真の意味で受け入れようとする場合は意外と限られており、人手不足の解決手段として見られている現状を危惧しています。相互発展を実現するまでには相応の覚悟と時間は必要だと思います。

・最近の大学生を見ていると経済的な余裕がなく、地域活動よりもアルバイト等の経済活動を優先せざるを得ない学生も増えており、持続性を持たせるためには金銭に限らずインセンティブが多少なりとも必要になりつつあると思います（一部だけかもしれませんが）。

・世代間ギャップ、分断が年々広がっているように思います。他世代交流が良いのか、世代ごとにそれぞれのやりたいことを実現するのか、伝統を重んじつつも全てを残すことは難しいように感じています。

・若者が社会参画したことを就職などの際も含めて正当に評価してもらえる世の中になるようになって欲しいです。